

# 留 学 報 告 書

記入日:2014年07月21日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部/国際日本学科
留学先国	イギリス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: マンチェスター大学 現地言語: University of Manchester
留学期間	2013年09月～2014年06月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	人文学科
帰国年月日	2014年06月20日
明治大学卒業予定年	2016年03月



留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 9 月下旬 1 月下旬 2 学期: 2 月上旬～6 月上旬
学生数	40,680 人
創立年	1824 年

留学費用項目	現地通貨(ポンド)	円	備考
授業料	0	0 円	協定留学のため、授業料は国際日本学部へ納入
宿舍費	6,681	1,156,000 円	1 ポンド=約 173 円換算
食費	900	155,700 円	1 ポンド=約 173 円換算 * 朝食・夕食は寮費に含まれる
図書費	0	0 円	* 授業に関する参考書はすべて PDF 媒体でした
学用品費	70	12,110 円	* 参考資料の印刷代が含まれる。
教養娯楽費	500	86,500 円	* ミュージカルや大学の旅行ツアーに参加した費用も含まれる
被服費	150	25,950 円	
医療費	0	0 円	
保険費	143	25,000 円	形態: 海外旅行医療保険
渡航旅費	1,035	180,000 円	スカンジナビア航空 1 年オープン
雑費	200	34,600 円	洗濯代・バス代・電車代・フォーマルディナー代
その他	30	5,190 円	美容院代
その他	130	22,490 円	お土産代
その他		250,000 円	年間旅行代
合計	9,839	1,791,540 円	

### 渡航関連

渡航経路: 成田空港→コペンハーゲン空港→マンチェスター空港

渡航費用

チケットの種類	スカンジナビア航空 (SAS go)
往路	_____
復路	_____
合計	180,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

中野キャンパスのリエゾンデスクで航空券の情報を聞きました。

### 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍など)

大学寮

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 \_\_\_\_\_)

3) 住居を探した方法:

大学のホームページで寮の種類や形態を確認し、その寮の Facebook ページで雰囲気把握しました。また、実際にマンチェスター大学に留学をなさっていた先輩とお話をし、各寮の雰囲気をお聞きしました。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は、ケータリング式(朝食・夕食)の寮を選択しました。寮の中にある食堂で毎日、食事をするため、寮内の多くの学生と会話ができました。このことから、食事付きの寮は友達の輪を広げ、交流を深めることのできる機会が多いと感じました。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会が無かった  
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

私は、何か困ったときや悩みがあった際には周りにいる友達に相談をしていました。しかし、マンチェスター大学には専門のカウンセラーの方がおり、常に相談のできる環境であったと思います。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

現地の危険情報は、実際にイギリス・マンチェスターに留学をしていた先輩からお話を伺いました。また、インターネットを利用し、その地域の雰囲気やどのエリアが危険であるか、過去に事件が起こったかかを検索しました。留学先では、特に犯罪に巻き込まれたことはありませんでしたが、人ごみや夜のパブ・クラブなどはできるだけ避けるようにしました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内はすべて Wi-fi 接続が可能でしたが、寮では受付と食堂以外では利用することが出来ませんでした。しかし、公共のバスや電車、カフェなどでは Wi-fi 接続が可能であり、生活面で特に困ることはありませんでした。携帯は、現地でプリペイド式の携帯を買い、毎月 £10 を払い、電話とメールを利用していました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地では銀行口座を開設しませんでした。日本の空港で現金をトラベラーズチェックに変え、現地の銀行でトラベラーズチェックをポンドに変換して利用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

薬、日本茶、変換機・アダプター(特に日本式の二穴をイギリス式の三穴に変換するものなど)

## 進路について

1) 進路

- 就職     進学     未定     その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

マイナビ国際派就職 EXPO 2014 サマー (2014 年 06 月 21 日~22 日開催)

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

留学後(6 月下旬)に開催された就職フォーラムに参加をすることで、各企業の情報だけでなく、周りの学生の就職活動をする姿勢が良い刺激になり、自分の進路を真剣に考えるきっかけになると思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
120 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Media culture and Society	メディア文化と社会
科目設置学部・研究科	人文学部・社会学部
履修期間	2013 年 09 月 16 日～2014 年 01 月 24 日
単位数	20
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、チュートリアル
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Dr Virinder S Kalra
授業内容	メディア発達の歴史を学ぶだけでなく、現代のソーシャルネットワークやメディアや広告の役割などを社会情勢と絡めた内容でした。
試験・課題など	試験は 2 時間あり、10 個の質問から 2 個を自由に選択し、自分の意見や学者の意見への批判、キーワードの定義を述べました。チュートリアルでは、1 人 10 分程度のプレゼンテーションがあり、広告の役割や種類について発表しました。
感想を自由記入	講義やチュートリアルでは、実際に Facebook や Youtube などの SNS・メディアを利用したりと、受け身ではなく自らが参加する形式をとったコースだと思いました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
From Modernity to Postmodernity	現代社会から近代社会へ
科目設置学部・研究科	人文学部・社会学部
履修期間	2013 年 09 月 16 日～2014 年 01 月 24 日
単位数	20
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、チュートリアル
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Dr Peter McMylor
授業内容	講義では、主に歴史に残る社会学者について学びました。チュートリアルでは、各社会学者の意見や考えに対して現代社会と比較をしたり、批判的な考えがないかをペアを組んで話し合いました。
試験・課題など	試験は 2 時間あり、10 個の質問から 2 個を自由に選択し、自分の意見や学者の意見への批判、キーワードの定義を述べました。チュートリアルでは、毎回必ず 2～3 人のペアを組み、模造紙にペアで話し合った社会学者への批判的な考えをまとめました。
感想を自由記入	多くの社会学者の記事を読むことによって、基本知識だけでなく、現代社会と比較をすることができたと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gender Sexuality and Culture	性と文化
科目設置学部・研究科	人文学部・社会学
履修期間	2013年09月16日～2014年01月24日
単位数	20
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、チュートリアル
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Dr Paul Simpson
授業内容	講義では、LGBT 運動やフェミニズム、性に関する考えを述べている社会学者のフォーコーについて学びました。チュートリアルでは2人ペアを組み、その週に講義で取り扱われた内容に沿った質問に答えたり、批判的な考えを挙げたりしました。
試験・課題など	試験は2時間あり、10個の質問から2個を自由に選択し、自分の意見や学者の意見への批判、キーワードの定義を述べました。チュートリアルでは、チューターが事前に用意した質問に対してペア同士で確認をしたり、講義内容に沿った内容やキーワードをまとめると同時に批判的な意見をプレゼン式で述べました。
感想を自由記入	性についての講義を今まで履修したことがなく、はじめはLGBT運動の現状など把握できていない状態であったため、1セメスターの中で一番難しく感じたコースでした。しかし、チュートリアルで実際にLGBTをサポートしている学生が多かったことから、性に関する差別・偏見の現状を知ることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sociology of Personal Life	社会と個人生活
科目設置学部・研究科	人文学部・社会学
履修期間	2014年02月25日～2014年06月06日
単位数	20
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、チュートリアル
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Dr Petra Nordqvist, Dr Paul Simpson
授業内容	講義では、個人の生活を友情関係・独身生活・政治・宗教などの観点から見て、それがどのように社会と結びついているのかを学びました。チュートリアルでは2人組のペアを作り、講義内容を事前に準備された質問に沿って復習しました。
試験・課題など	試験は2時間あり、10個の質問から2個を自由に選択し、自分の意見や学者の意見への批判、キーワードの定義を述べました。チュートリアルでは、チューターが事前に用意した質問に対してペア同士で確認すると同時にグループプレゼンテーションも実施され、1人10分程度の発表をしました。また、学期の終わりには、1500字のエッセイを提出する必要がありました。
感想を自由記入	事前に準備された質問以外にも、チュートリアルではチューターさんが当日用意した問題などもあり、その場で意見を発言したり考えたりすることが必要でした。グループやペアでの取り組みが比較的多かったと思われます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Sociology of Popular Music		社会と音楽	
科目設置学部・研究科	人文学科・社会学部		
履修期間	2014年02月25日～2014年06月06日		
単位数	20		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ワークショップ		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Dr Nick Crossley		
授業内容	音楽と社会の関係性を、民族・ジェンダー・政治・世代などの点に的を絞って学びました。ワークショップでは、実際に講義で扱った音楽を視聴したり、グループで音楽産業について話しあったりしました。		
試験・課題など	試験は2時間あり、10個の質問から2個を自由に選択し、自分の意見や学者の意見への批判、キーワードの定義を述べました。学期末に2000字のエッセイを提出する必要があり、5つの質問から2つ自由に選択しました。		
感想を自由記入	音楽の種類を学ぶだけでなく、それらの音楽がどのような面で社会に影響を及ぼしているかを学ぶことができました。エッセイを書く際には、講義内容をまとめるだけでなく、実際に様々な種類の音楽を聞いて、自分がどのようにそのメロディーを捉えたかを述べる必要があると思いました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Self and Society		個人と社会	
科目設置学部・研究科	人文学科・社会学		
履修期間	2014年02月25日～2014年06月06日		
単位数	20		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、チュートリアル		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Dr Vanessa May		
授業内容	講義では、社会は自己形成の過程でどのような影響を及ぼすか、また所属意識とはどのように形成されるのかを学びました。チュートリアルでは、グループを作り事前に用意された講義内容に関する質問に答えました。		
試験・課題など	試験は2時間あり、10個の質問から2個を自由に選択し、自分の意見や学者の意見への批判、キーワードの定義を述べました。チュートリアルでは、チューターが事前に用意した質問に対して、グループ内で話し合いました。また、学期末には1人15分程度のプレゼンテーションがありました。		
感想を自由記入	実際外国に身を置き生活をしながら、所属意識や文化の違いなどを考えるのは面白かったです。チュートリアルでは、他のインターナショナル生と話をすることができ、直接異文化について学ぶことができました。		

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	TOEFL-iBT の形式把握 TOEIC IP 受験
4月～7月	TOEFL-iBT 勉強 3週間に洋書を1冊読む(読んだ洋書のあらすじをまとめる)
8月～9月	8月に TOEFL-iBT 受験 1学期に扱った単語・イディオムを復習 (特にリーディングとリスニングの授業で扱ったもの)
10月～12月	TOEFL-iBT 勉強 協定留学となっている大学のホームページを参照 実際に留学へ行った先輩方のお話を聞く、面接練習(英語で) 12月半ば、協定留学合格
2013年 1月～3月	TOEFL-iBT 勉強 BBC ニュースや BBC i player、TED を聞く 衛生講義を実施している大学の講義を聞く(特に留学先で専攻したい社会学の講義)
4月～7月	留学先の先輩から直接マンチェスターの雰囲気を知り、専攻科目や寮などを選択 イギリス英語に慣れるため、BBC ニュースや BBC podcast を聞く 明治大学主催の IELTS 講習を週1回受講する
8月～9月	IELTS で 7.0 目標に勉強 「イギリス英語のニュース・CNN (朝日出版社)」を用いて勉強 9月に IELTS を受験し 7.0 を取得 9月半ばに渡英
10月～12月	BBC ニュースや BBC iplayer を聞く "Get Rid of your accent" (著 Linda James & Olga smith)を用いてイギリス英語を勉強する Reading week を利用して、友達とロンドン旅行 アメリカから友達が訪問、冬休みを利用してオランダとベルギーに旅行
2014年 1月～3月	引き続き、BBC ニュースや BBC iplayer を聞く、洋書を1か月1回読む 試験勉強 イギリスの大学生が参加するツアーに参加し、アイルランドへ旅行
4月～7月	イースター休暇を利用して、フランス・スコットランド・ドイツへ旅行 試験勉強、IELTS 勉強 帰国後にマイナビ国際派遣就職フォーラムに参加、インターン面接
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	異文化体験を通して自国を客観的に見据え、視野を広げたいと思いました。また、社会的背景が異なる学生と履修研究科目について意見を交換することで、新しい観点から物事を考えることができると思いました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	リーディング力を向上させる必要があると思います。各講義やチュートリアル の予習・復習として膨大な資料を読みます。そのため、留学の準備段階で多くの英文や記事に慣れておくことを勧めます。生活面では、日本の料理や行事、地域の特色について知識を深めておく、より深い異文化交流ができると思っています。
この留学先を選んだ理由	マンチェスター大学では講義だけでなく、チュートリアルやワークショップといった学生が主体となって課題に取り組む機会があったため、あらゆる視点から社会学を深く研究したいと思いました。また、マンチェスターは多国籍文化であると同時に、スポーツイベントやミュージカル、コンサートなどが開催され、生活面でも充実した留学生活を送ることができると思いました。
大学・学生の雰囲気	多くの学生が勉強と遊びの区別ができていて感じました。講義中は積極的に教授に質問を投げかけ、自分の意見を発言する学生が多かったです。また、大学内の図書館やパソコンルームでも予習・復習に取り組む学生が占めています。同時に、大学が開催するダンスパーティーやスポーツイベント、ボランティア活動、ツアー旅行では、多くの学生で賑わい、一人一人が行事を盛り上げている印象がありました。
寮の雰囲気	私の寮はケータリング式(朝食・夕食)だったため、毎日寮の学生と交流する機会がありました。また寮にはバーがあり、ゲームや映画、パーティーが開かれていました。3 か月に 1 回はフォーマルディナーが寮内であったため、たくさんの学生と会話することができました。友達を作る最適な場所だったと思います。
交友関係	留学開始の 9 月頃に大学でオリエンテーションが開かれ、寮内でもイベントが開催されたため、現地生だけでなくインターナショナル生とも交流を深めることができました。また、ジャパニーズソサエティというサークルに参加をしたことで、日本に興味を持つ外国人や将来日本への留学を考えている学生と知り合うことができました。
困ったこと、大変だったこと	留学当初はイギリス英語に慣れず、フレーズや表現に戸惑いを感じました。また、チュートリアルでは小グループで意見を出し合い、ディスカッションを必ずするため、現地生の述べた考えを聞き取ることに苦労しました。しかし、寮での食事の時間やチュートリアルでのグループ活動で積極的に質問をし、会話を続ける努力をしたことで、少しずつイギリス英語に慣れました。
学習内容・勉強について	私は社会学を専攻していました。社会学者の考えや記事を膨大に読み、チュートリアルではその予習をもとに、学生同士で意見交換をすることが多々ありました。積極的にグループ活動に参加できるかは、いかに予習を進めることができるかどうかだと思います。そのため、予習段階で時間の効率性を考え、計画的に取り組む必要があると思いました。わからないことや疑問に思ったことは、恥ずかしがらずに他の学生や教授に質問することも、新しい発見への近道だと思います。
課題・試験について	課題は主に、講義で出題される 2000 字のエッセイと各チュートリアルで毎回出題される講義内容に沿った質問内容に答えるものでした。事前に読む必要があるリーディング量が非常に多く、休日も勉強する必要があります。どの試験も 2 時間であり、5 個の質問から 2 つ選択をし、エッセイ形式で述べるものでした。普段の講義やチュートリアルを積極的に取り組むことで、試験勉強もスムーズに取り組むことができると思っています。
大学外の活動について	イギリスは他のヨーロッパ圏の国と近い距離に位置するため、留学中に 6 か国旅行することができました。特に、イギリス中から集まった大学生が参加するアイルランド旅行では、マンチェスター大学だけでなく他大との交流もあり、たくさんの友達を作ることができました。
留学を志す人へ	留学は、実際に外国で生活していることだけが自分自身を成長させるものではありません。留学を意識し、情報収集をし、留学と同時に自分の将来にも目を向けることで、新たな目標を見つけることができると思っています。日本とは異なった生活環境に対して不安を抱くこともあると思います。しかし、自分の可能性に挑戦する機会はなかなかないことであり、せつかくの機会を是非つかみ取っていただきたいと思っています。留学は勉学の知識を深めるだけの場ではなく、たくさんの新しい経験ができる場でもあるため、とても大きな価値があり、必ず将来の自分に役立つものです。自分を信じて、頑張ってください！



## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	寮で朝食	寮で朝食	寮で朝食	寮で朝食	寮で朝食		
	チュートリアル	予習	講義	予習	講義	寮でランチ	寮でランチ
午後	コースメイトと 昼食	チュートリアル	寮の友達と 昼食	寮の友達と 昼食	講義	友達と出かける (スポーツ観戦 ミュージカル等)	予習
	予習	チュートリアル	予習	講義	予習		課題
夕刻	寮で夕食	寮で夕食	寮で夕食	寮で夕食	寮で夕食	寮で夕食	寮で夕食
夜	課題	課題	バドミントン	課題	寮・大学の イベント	寮・大学の イベント	課題